



特別企画

スポーツ少年団と連携しているクラブ



NPO法人MIYAZAKIうづらaiクラブ

<宮崎県宮崎市>



総合型クラブが地域に定着し、浸透するためには、地域との一体感の醸成が重要となります。そのために、スポーツ少年団をはじめとする地域のスポーツ団体等と相互扶助の関係を築き、地域社会からの信頼性を確保し、地域に根差す団体となる必要があります。

そこで今回は、スポーツ少年団と連携し、地域におけるスポーツ推進体制を高めているクラブを紹介します。



1 クラブ概要

宮崎県宮崎市佐土原町久峰中学校区に当時小学校のPTA役員をしていた保護者を中心に平成18年より設立準備委員会を立ち上げました。元教員・校長であり宮崎県水泳連盟の会長だった伊東先生を会長にお迎えし、保護者では足りない専門的な指導やアドバイスなどをいただきながら、地域に住む子どものスポーツ環境を充実させるために平成20年にMIYAZAKIうづらaiクラブを設立しました。

会員数100人強 無理・無駄なく各活動を実施

佐土原町には5つの小学校区に地域づくり協議会があり、当クラブは広瀬北小学校区地域づくり協議会に所属し、子どものスポーツ活動と併せ、まちづくりの一環で多世代多種目の活動を展開。平成24年にはNPO法人となり現在に至ります。ピーク時には300人の会員がいましたが、現在は110人程度です。無理なく無駄なく地域に本当に必要とされる活動に絞り、スタッフの正常な雇用体系を維持しつつ運営できる範囲を理事で協議し、令和元年度には事業の見直しを図り、教室数4、連携教室・活動3、パーソナルトレーニング、出前講座などを実施しています。

ホームページが事務局窓口役

事務所は令和2年1月に閉鎖し、(株)Tameni内に設置し事務委託をして運営。クラブホームページを事務局窓口として活用し、事務業の簡素化・効率化を図っています。

2

育成母集団として少年団を支援し連携

多項目体験を経て少年団に登録ー「運動サークルうづらキッズ」

平成18年の設立準備委員会時より、子どもに多種多様なスポーツ体験の機会を提供し、好きなスポーツに出会い、好きなことを一生懸命できる環境へつなげるという目的を持って活動を開始しました。

まず初めに開設した教室が「運動サークルうづらキッズ」、もう一つは「久峰陸上クラブ」です。「運動サークルうづらキッズ」は週1回活動しており、月ごとに実施するスポーツが変わるため、様々なスポーツ体験ができる教室です。その各種スポーツ体験に、地域で活動するスポーツ少年団（サッカー・陸上・野球・カヌー）の生徒・児童と一緒に来てもらい指導をしてもらいます。うづらキッズは小学1年生から6年生までいますが、継続して実施したい種目に出合えた子の中には、うづらキッズを卒業して専門種目のスポーツ少年団や地域クラブに移籍する子もいます。移籍せずに両方選択する子や毎年多項目を楽しむ子もあり、週1回しか活動しないことが多様な選択の手助けとなっているようです。



【うづらキッズ】

毎月月替わりで様々な種目を行っています。
運動が苦手でも友達と仲良く活動しています。

少年団登録の陸上とカヌーでは、クラブ側は育成母集団の役割

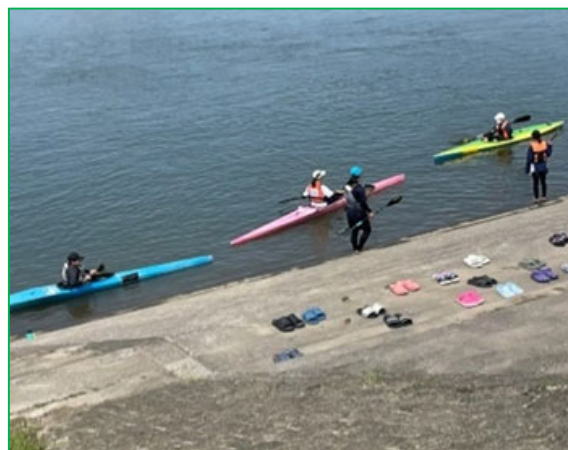
「久峰陸上クラブ」ですが、私たちの活動エリアには陸上クラブがなく、陸上へのニーズがありましたので直営で設立しました。その後「宮崎カヌージュニア」も設立し、地域にない活動はつくり、あるものは既存の地域団体と連携することにしました。

その後、陸上とカヌーはスポーツ少年団登録をしています。育成母集団は当クラブが担い、事務会計などをクラブが支援しています。陸上もカヌーも保護者会をつくりませんので、保護者の役員は不在で、保護者会費等も発生しません。イベント（体力測定・クリスマス会・お別れ会・自然体験キャンプ）は監督・指導者と協議し、計画しています。保護者には、大会時の運営等に可能な範囲で協力いただいております。生徒児童の家庭の中には共働きや祖父母がサポートしている場合も多く、一般的には保護者の役割である部分を育成母集団であるクラブが代行している面も支持されていると思います。

また、児童・生徒を指導するにあたり、理念や活動・指導の目的を保護者や参加児童・生徒、指導者コーチにも共通理念として理解してもらう必要がありました。こうした背景もあり、スポーツ少年団登録をすることで、スポーツ少年団の基本理念や健全育成に関する知識などを周知し、指針とすることができました。昨年12月には当クラブ教室と参加を希望する地域のスポーツ少年団と合同練習会を開き、活動種目の違う生徒・児童が同じ場所で体力測定やトレーニング、チーム対抗駅伝、レクリエーションをして楽しみました。



【久峰陸上クラブ】
小学校3年生～6年生が対象。走る楽しさを
知ってもらいたいという理念を基に基礎的な
動きづくりを中心に活動しています。



【宮崎ジュニアカヌークラブ】
小学2年生～高校生までが対象。カヌーの動きを通して
運動の基礎土台を固め、楽しく活動する子、競技力向上を
目的とする子と、さまざまなレベルの子が在籍しています。



【他競技合同練習会】
他競技のスポーツ・選手と関わることで自分の種目に対する
意欲を高めるきっかけになりました。

3

少年団との連携で相乗効果 事務運営の簡素化にも着手

クラブ側と少年団の連携で、双方にメリットも

当クラブは地域にない活動を行うという方針から、他のスポーツ少年団と競合することはありませんでした。また、当クラブには他のスポーツ少年団のご協力を得て活動できている運動サークルがあります。一方で、当クラブの運動サークルでの活動を経て少年団登録する会員もいるため、他のスポーツ少年団にとっては将来の団員確保につながるメリットが生まれます。こうした相乗効果もあり、協力体制ができたと感じます。さらに、種目にこだわらず、運動したい仲間と一緒にいたいという子どもの受け皿にもなっているため、子どもの学校・家庭以外のサードプレイスの役割もあるように感じます。子どもの成長過程において様々な運動体験は有益であるという同じ思いの指導者に恵まれている環境にも助けられています。

会費等をキャッシュレス化 情報共有・情報発信面もデジタル化

コロナ禍以前に会費・参加費等のキャッシュレス化に移行したことで、集金等に関わる指導者スタッフ、保護者の手間が減りました。また、今年度より子どもの活動参加時刻や終了時刻、指導内容の告知や、連絡網やクラブの案内等もデジタル化し、より丁寧な個別の対応ができるようになりました。今、当クラブは量より質を高める努力をしています。コロナ禍で活動がままならない時でもトレーニングのオンライン配信でつながれたのも強みでした。

このキャッシュレス化や情報共有ツールのデジタル化で事務局の仕事量が格段に減りました。また、スタッフ同士や指導者同士の情報共有や会員への告知や情報発信、入会や体験申込みもHP/SNSを使うことで事務所を特別に持つ必要がなくなりましたので、企業のサポートをいただきながら運営することができています。オンライン化で、普段は別の活動をしている仲間と一緒に活動する機会もつくるできるようになり、今後の進展が楽しみになっています。

事務局運営費の負担軽減により「クラブづくり」に専心

会員数増という目的はありますが、事務局の運営費の負担が軽くなったことにより、やみくもに会員数を増やす必要がなくなったため、同じ思い同じ理念を共に抱けるような仲間とともにクラブをつくることに重きを置くことができるようになりました。

当クラブと関わる各少年団も現在、様々な課題に直面しています。団員数減やサポート体制の維持、運営費用や指導者確保の難しさなどです。一つ一つの団体では解決できないことも、複数集まることで解決できることは多々あります。今後も地域のスポーツ少年団と良好な関係を築き、連携・協力・支援できることがあれば、率先して関わっていく予定です。

形にこだわらず、地域活動充実に向け支援

形も大事ですが、あえて形を明確にせずに、その時々求められることができるクラブでありたいと思います。そこにある思いは、総合型地域スポーツクラブをつくることが目的ではなく、地域活動を充実させ支援することが目的であるからです。特に私たちは子どもの健全育成に寄与することを目的とするクラブであり、そのことを達成するために今後も活動をしていきます。

そして、そこに関わる指導者やスタッフ、サポーター、保護者や関係者が楽しく意義のあるものと感じられる環境を提供していくことも、当クラブの目指すところです。

多世代が一緒に多様な形で活動を

少子高齢化の中、圧倒的に子ども数が減る環境が迫っています。今こそ総合型地域スポーツクラブであろうとスポーツ少年団であろうと多世代が一緒に多様な形で活動することが求められます。総合型地域スポーツクラブの大きな利点は、そのような多様なニーズに応えられることです。変化をおそれずに楽しみながら今後も総合型地域スポーツクラブの運営を行っていきます。

(NPO法人MIYAZAKIうづらaiクラブ 理事長 石川 理恵)

クラブプロフィール

設立年月日 平成20年2月11日(平成24年8月22日法人登記)

所在地 宮崎市橘通西5丁目3-22-201

運営特徴 会員数105名(令和4年12月現在)、予算規模4,684,900円(令和4年度)
子どものスポーツを含む地域活動の充実を目的に、子どもの活動スタイルに合わせて、個別の目標設定を立て、年齢に合わせた丁寧な指導を行っています。
また、保護者の負担軽減を図るためにアプリの導入や事務局業務に力を入れています。活動を支える関係者も楽しめるように試行錯誤しながら変化し続けるクラブです。

連絡先 〒880-0001 宮崎市橘通西5丁目3-22-201
TEL 0985-86-9321 FAX 0985-86-9322
URL miyazakiudura.com
E-Mail h_uzura@yahoo.co.jp

